



憲法記念日によせて 「お話と朗読のつどい」に参加して

5/7(土)の午後、代田教会礼拝堂で開催した、今回のつどいは、代田・九条の会が主催し、代沢九条の会、九条の会・まつざわが協賛して行われたことで、今後このような形が増えることが期待される(参加者 82 名)。

はじめに、東日本大震災の大災禍による犠牲者に黙祷した。

翌日からの地方公演を控え多忙のなかに参加された劇団民芸・俳優の日色ともゑさんは、日本橋生れで、1945年3月10日の東京大空襲の体験を生々しく語られた後、花森安治さんの詩「戦場」を朗読。その後、3/11の東日本大震災について東京での体験を交えて語られた。

代田教会の平野克己牧師が、教会の地域とのかかわりを話された後に、聖書の一節を朗読された。

金子勝教授の講演は、この日のためにわざわざ手書きで作られた大部の資料をもとに進められた。

はじめに幸福論・憲法の本質論からはいられた。最近の国内情勢として東日本大震災と東電福島第1原子力発電所の事故のおよぼす影響と、そこから学ぶこととして、自衛隊・米軍の投入のプラス・マイナス、戦争国家作りへの警戒の必要性和、私たちの課題として、21世紀は「第九条」が人類と世界の「導きの星」となるべきであると論じられた。次に「平和的福祉国家」の建設と題して、日本国憲法の「第9条」と「国民主権」「基本的人権」「平和的生存権」と「地方自治」を用いて、新しい「平和的福祉国家」を作ることが課題とし、軍隊と戦争がないところで初めて「福祉国家」はその目的を達成できる。それが日本国憲法が目指している国家であると結ばれた。

出席者から活発な質疑があり、主催・協賛の3つの九条の会の紹介があった。良い雰囲気の中で終了することができた。(代田5丁目・野間口 至)

プログラム

- * お話と朗読 「戦場」(花森安治・作)
日色 ともゑ さん(劇団民芸・俳優)
- * お話 平野 克己 さん(代田教会 牧師)
- * 講演 「どうなっている憲法九条」
— 新「防衛大綱」と海外派兵
— “憲法の語り部”となるために
金子 勝 さん(立正大学 教授)



つどい に出席して

当日は小雨まじりの天候の中、多くの方々に参加してくださり、代田とまつざわの組織力の強さを感じました。

また、金子先生の講演では、多くの示唆に富む話を聴くことができました。好感度を増しつつある自衛隊や米軍、被災者を気遣う天皇と皇族の姿、繰り返し放映される弱者を労わるテレビCM等々、私たちを取り巻く見えない力が、人々の心のある方向に無意識に向かわせていることへの警戒心と、自分で考えることの大切さを痛感する有意義な一日でした。金子先生に続き、憲法の語り部となるよう、今後も活動に取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

(代沢九条の会・岩村 幸子)

つどい に出席して

今、旬の「代田・九条の会」の憲法集会に協賛できて、少し視界が広がったように感じています。ありがとうございました。

3. 11 東日本大震災、福島原発被災事故以来、怒濤のように押し寄せる情報の中で、10万人を超える自衛隊の投入、米軍の「トモダチ作戦」、天皇夫妻の被災者慰問など、適切な表現ではありませんが、のどに刺さった棘のように気がかりでした。金子先生は、それらのこともひっくるめて、「平和的福祉国家」への道筋を提示、原子力発電所は「核廃絶」の対象に含めて、すべて破棄する運動を展開する必要があるとも。国会は憲法改正を狙った不穏な動きが急です。比例定数削減の策動もあります。お話と朗読をしていただいた日色ともゑさんに触発されて、若々しく魅力的に活動していきましょう。今後ともよろしくお願ひします。

(九条の会・まつざわ・荘司美子)

憲法記念日によせて・お話と朗読のつどい アンケートについて ①

参加者のほぼ 20%に当たる 14 名の方から回答を頂きました。回答者は 60, 70 歳代に集中していましたが、40 から 80 歳代に渡っていました。九条をまもり活かす活動を続けているシニアの方々に敬意を表したいと思います。

1. 日色ともゑさんの朗読とお話について

- ・初対面だが、とても気さくな方でした。
- ・戦争体験など、なかなか聞けないお話を聞くことができ良かった。朗読はさすがです。
- ・心にしみる素晴らしい詩の朗読をお聞きしました。朗読の力は大変なものですね。
- ・暖かい深い声に涙が出た。心に響いた。
- ・活躍ぶり、情熱に頭が下がります。心からエールを贈りたい。
- ・聞き取りやすい声での、体験談や朗読ありがとうございました。地道な活動を長く続けておられことに感謝します。
- ・言葉の力に打たれた。表現者としての姿勢の確かさに圧倒された。語り部のモデルであろう。
- ・いろいろ考えさせられました。
- ・母の「戦場」体験を思い出しながら聞きました。焼夷弾の飛び交う中を逃げ感ったと幾度となく語っていました。命を継いだものとして、「戦場」を再びつくりたくないことを心に誓う。
- ・子供の詩に戦争体験の全てが語られている。良い朗読であった。
- ・広島長崎の犠牲者の声に耳を傾けなければ。
- ・実体験から朗読へ、朗読から自分の思いと活動へと、心にしみるお話感動した。
- ・お話と朗読、「真実には心が揺さられる」思いです。
- ・昭和 20 年 5 月 24 日の B29 の空爆で若林の我が家にも焼夷弾が 9 発落ち、ひどい目にあいましたので、お話は身にしみました。あれもホロコーストと云ってよいのです。17 年 6 月 7 日ミッドウエイ開戦で日米戦の勝敗は明確になったにも拘わらず、20 年 8 月 15 日まで何故止めなかったのか。イタリア人は賢いから戦いを止めています。何時までも戦うことは賢い人のやることではありません。



2. 金子勝さんのお話について

- ・とても分かりやすく、面白く、大切な話を聞かせて頂きました。
- ・力強い話で大変わかりやすかったです。
- ・視野が広がって良かった。
- ・素晴らしい講演であった。
- ・九条は、大切に守らなければならない、大切な宝だと思えます。
- ・レジュメも良かったし、お話も素晴らしかった。
- ・久しぶりにモヤモヤが吹き飛んでスツとした。面白かった。
- ・最近、首相が米国を指すとき「同盟国」と云って憚らない。防衛計画の大綱化は、まさに同盟を強めることに他ならない。大綱化の全てが九条に反する行為だと認識する。同盟化を止めなければならない。
- ・理想そのもののお話ですが、厳しい国際状況（特に対米関係）におかれている現状を、果たして乗り切ることが出来るのでしょうか。大多数である市民（私）の非力を感じます。
- ・震災の中で、大きく取り込まれようとしている現状を分析されて良かった。「防衛計画の大綱」の内容の危険さを強く感じた。
- ・深い内容だったので、理解するには時間が短かった。
- ・「語り部」となることの難しさを思いながら、お話を伺いました。
- ・資料に基づいて、歯切れ良くお話いただき、元気をもらいました。「平和的福祉国家」（憲法）の目指す社会の壮大な理想（当たり前のはずのこと）への道のりの険しさを感じつつも、先生の語り部ぶりに心強く思いました。
- ・落語好きの教授らしく、大変楽しくお話を聞くことができました。「原発=核兵器」という言葉にハッとさせられました。平和のためには原発を許すな！「平和的福祉国家」の考え方を、自分のこれからの視点として大切にしたい。



憲法記念日によせて・お話と朗読のつどい アンケートについて ②

3. 今日の集い全体について

- ・素晴らしい企画でした。有意義な会であった。大変良かった。
- ・今までも聞きたい、行きたいと思っていましたが、始めて参加しました。
- ・充実した内容でいい企画であるということも感じている。(友人、知人を)誘えば良かったと反省します。合同での催しを行うのは良いことです。
- ・キリスト教徒の方も来ておられたので、金子先生のお話はちょっと政治的過ぎるかなと感じました。
- ・多様な年齢層の方々が参加されており、自分たちのいつもの会と較べ、羨ましく感じました。
- ・鎌倉へ7月5日に行きたくなりました。



4. 九条の会の取り組みについて

- ・私なりに九条をまもるために心したいと思います。
- ・震災を期に改憲の策動があるが、これを止める運動を考えたい。
- ・地域の人々に問いかけるこのような催しは、大変良いことだと思います。沢山学ばしてもらいました。
- ・若い人に広めたい
- ・素晴らしい企画なので、宣伝と口コミによりお誘いするといったことが必要なのだと思いますが、…私が何もしなくて心苦しいです。
- ・世田谷九条の会会員です。貴会に、いつもの例会の他に少人数の憲法を読み合いや参加者全員が発言できる会を作って下さい。

5. その他

- ・日色さん達の朗読の会は、何度(何年)かテレビで見たことがあります。
- ・詩の朗読会は独自に企画してもいいのでは。
- ・一層、九条の大切さを実感できました。
- ・マスコミを信じている普通の人々に、この考え方をどう伝えるのか…。会場の人だけでは、だめですよ。
- ・内橋さんのファンなので記事を読みたかった。岩波の雑誌「世界」特別号は売り切れ。予約したが、重版したけど予約いっぱい、手に入りませんでした。残念。
- ・質問者の意見に共感しました。
- ・金子先生の21世紀の話、大変良かった。幸福になる権利「九条」のことが良く分かりました。
- ・会場(代田教会)と平野牧師のお話もとても良かった。ありがとうございます。
- ・84歳ですが、健康を保っています。その秘訣は、①(フィジカルには)シニア社交ダンスを踊ることにあります。終了後のお茶の会なども参加します。②(メンタルには)余命を近代史の勉強に費やしています。大正、昭和、平成と生きてきた自分史と重なって理解できるし、同時代のことの会話なので、友達とは心が通じるので、面白いです。
- ・金子先生の講演レジュメなどをweb化されるご予定とのこと。すばらしいことです。貴会に入会し、できる範囲で手伝わせてください。
- ・NHKなどの大手メディアが、民衆の声を軽視し、多数党中心の報道をおこなっていて、それが民主主義をゆがめている、視聴者・読者の自覚的な受け止めが必要である。





集会等の紹介

5月14日(土)～23日(月) 午後1:30または6:30開演 舞台劇「月光の海ギタラ」

劇団俳優座公演 加藤 剛 ほか

問合せ先: 劇団俳優座 (Tel 03-3405-4743) <http://haiyuza.net>

会場: 紀伊國屋ホール (新宿) 料金: 一般A席5250円、B席4200円

5月20日(金) 午後6:00から 九条の会東京連絡会 大学習会

講師 渡辺 治 (一橋大名誉教授) 「大震災・原発事故後の日本の行方と私たちの課題」

うた 横井 久美子 (シンガーソングライター) 参加協力費: 800円

問合せ先: 九条の会東京連絡会 (Tel 03-3518-4866) <http://www.9jo-tokyo.jp>

会場: けんせつプラザ東京 5F 新宿区北新宿1-8-16 (JR中央線・大久保駅下車)

5月30日(月) 午後6:30から 「生かそう憲法!今こそ9条を!世田谷の会」第7回総会

記念講演「命に国境はない ～イラク戦争とは何だったのか～」 高遠 菜穂子 (イラク支援ボランティア)

問合せ先: 世田谷地区労 (Tel 03-3428-1234) / 世田谷IX労連 (Tel 03-3418-3341)

会場: 世田谷区民会館・集会室 (区役所隣り)

6月4日(土) 午後1:30から 九条の会講演会

大江 健三郎 (作家) 奥平 康弘 (憲法研究者) 澤地 久枝 (作家) 鶴見 俊輔 (哲学者)

主催: 九条の会 Tel 03-3221-5075 会場: 東京日比谷公会堂

参加費: 前売1000円 (当日1500円)

申込み: 郵便振替にて、口座 No. 00180-9-611526 加入者名: 九条の会 に

「講演会入場券〇枚希望/名前/住所/電話番号」記載の上。

日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、

裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめてみましょう ～

お願い: ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。